

2022年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
37108	ヒップホップ・ダンス Hiphop dance	松田政大	✓	専門	1	選択	1.2前期
科目の概要							
この科目はストリートダンスを通じて協調性や自己表現の向上、およびその歴史の背景を学び、その文化の知識を高める。この活動を通じて、4大精神の実践を進めていく。 ★ダンス講師の経験を活かして、各種ステップの方法を上手く上達できるように見本を示しながら指導する。							
学修内容				到達目標			
① HIPHOPダンスの基礎的なリズム、ボディコントロール、ステップや応用、そして振り付けの習得をする。 ② HIPHOPの歴史についても学ぶ。 ③ ダンスの作品を作る。				① リズムの取り方、表現力を高め、自分の感情を開放することができる。 ② HIPHOPが誕生した背景などの歴史を把握することができる。 ③ チームを作り発表することができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	自ら進んでみんなの前で踊り、恥ずかしがらずに音と向き合って踊る。					
	働きかけ力	自分の意見を持ち、伝えることができる。					
	実行力	指導したダンスを復習する。					
考え抜く力	課題発見力	自分が苦手なステップを自ら探る。					
	計画力	作品作りや発表に向けて計画を立て進めて行くことができる。					
	創造力	ソロのパートを設定して自分でも振付を考えてみる。					
チームで働く力	発信力	指導する側に回り、みんなに分かりやすく説明する。					
	傾聴力	人の意見やアドバイスを受け入れることができる。					
	柔軟性	自分達で相談して立ち位置やフォーメーションを考えてみる。					
	状況把握力	全員がレベルアップ出来る様に協力し合う。					
	規律性	無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力	緊張する場面や計画通り進まない時にも、焦らず平常心で行動できる。					
テキスト及び参考文献							
特になし							
他科目との関連、資格との関連							
特になし							
学修上の助言				受講生とのルール			
細かく指導するだけでなく、なぜそのように動くのかを考えさせてから、答えに導く。				いきなり、答えを言わず、一人一人がダンスと向き合って答えに導くようにする。 ダンスを楽しめる様にする。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	40	①	✓	習得したステップをしっかりと踊れるかどうか、そして応用の振り付けも間違えずにしっかりと踊れるかを評価する。 細かい動きや音の取り方の理解等を重点に置く。	
				②	✓		
				③	✓		
	平常評価	小テスト		10	①		HIPHOPの歴史について授業で説明したことを把握しているか確認する。穴埋め問題や、○×問題を実施する。
					②	✓	
					③		
		レポート		0	①		
					②		
③							
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）			30	①	✓	チームを組んでみんなの前で披露する。協調性や、ルーティーンが正確に行えているかどうか判断する。	
				②			
	③			✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）		20	①	✓	(主体性) ・自分の体力を把握し、積極的にダンスを実践しているか。 (実行力) ・ダンスの上達に向かって粘り強く取り組み、目標を達成しているか。 (課題発見力) ・自分のスキルを分析し、課題を見つけて対処しているか。 (発信力) ・発表の場で、自分の考えを提案し、表現することができるか。 (規律性) ・学習意欲の欠如をきたす行動をせず、ルールを守ることができる。 ・欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。	
				②	✓		
				③	✓		
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
指導したステップを完璧に踊り(A)、さらにどのようにしたらカッコよく輝いて踊れるのか自分なりに考え実行できた場合は(S)となる。	ステップの仕組みを理解して音にあって踊れているかどうかを(c)基準とする。(B)の場合はそこから力みすぎず、自信を持って踊れているかどうかで判断する。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	ダンスの知識とステップの紹介 体力づくり 自己紹介	ウォーミングアップ リズムどりや簡単なステップの紹介 HIPHOP文化においての自己紹介を伝える	音の取り方や平均的な体力がある。 自己紹介で自分を表現できる。	自己紹介を考えておく。 習ったステップを復習する。	90	主体性 働きかけ力 規律性 ストレスコントロール力
2	ダンスの知識とステップの紹介 体力づくり	ウォーミングアップ リズムどりや簡単なステップの紹介	音の取り方や平均的な体力があり、前回実施したステップの仕組みを理解している。	リズムの取り方を復習する。	90	主体性 働きかけ力 規律性
3	HIPHOPの歴史	HIPHOPが誕生した背景を説明してノートに書かせる。	HIPHOPの歴史に関してしっかりと把握できたかを基準とする。	HIPHOPの歴史について調べてみる。	90	主体性 課題発見力 規律性
4	ダンスの知識とステップの紹介 体力づくり ステップの応用	ウォーミングアップ リズムどりや簡単なステップの紹介や手の使い方の説明	応用の部分の理解ができてきている。	応用ステップを次回までに習得してくる。	90	主体性 課題発見力 規律性
5	ステップの応用とルーティーンの指導 HIPHOPの歴史、知識についての小テストの実施	振付を指導する。	振付の習得に積極的に取り組んでいる。	指導した部分を次回までに完璧に踊れるようにする。	90	主体性 課題発見力 傾聴力 柔軟性 規律性
6	ステップの応用とルーティーンの指導	振付を指導する。 チーム分けをして覚える	振付の流れを理解している。	指導した部分を次回までに完璧に踊れるようにする。	90	主体性 実行力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
7	ステップの応用とルーティーンの指導	振付を指導する。 フォーメーションも考えて踊る	フォーメーションや立ち位置を理解している。	指導した部分を次回までに完璧に踊れるようにする。	90	主体性 実行力 計画力 創造力 発信力 状況把握力 規律性
8	ステップの応用とルーティーンの指導	振付を指導する。 フォーメーションも考えて踊る	フォーメーションが変化しても踊りこなせる。	指導した部分を次回までに完璧に踊れるようにする。	90	主体性 実行力 発信力 状況把握力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	チーム別発表会	各チームに分かれてみんなの前で披露してフィードバックしあう	意見がしっかりとと言える相手にアドバイスができる。	指導した部分がしっかりとおどれているかどうか	90	主体性 実行力 計画力 規律性
10	チームでの作品を制作する	みんなですぐ1分程度の作品を作る	仲間との協調性や自主性を高める。意欲を高めこだわりを持つことができる。	音楽を決めてくる	90	主体性 計画力 創造力 発信力 柔軟性 規律性
11	チームでの作品を制作する	ルーティーンを考え踊るだけでなく、パートも分けて踊る	振付を考えることができる。	次回踊る部分を制作してくる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 柔軟性 規律性
12	チームでの作品を制作する	仕上げ具合を見てアドバイスする。	作品制作に積極的に取り組んでいる。	次回踊る部分を製作してくる。	90	主体性 計画力 創造力 状況把握力 規律性
13	チーム別発表会	各チームに分かれてみんなの前で披露してフィードバックしあう	意見がしっかりとと言える相手にアドバイスができる。	指導プログラムを考えてくる。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
14	インストラクションの実施	指導側に回り、その結果をフィードバックしあう	指導方法や、相手の気持ちをしっかりと考えて指導できる。	基礎のステップの復習	90	主体性 働きかけ力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
15	インストラクションの実施	指導側に回り、その結果をフィードバックしあう	指導方法や、相手の気持ちをしっかりと考えて指導できる。	基礎のステップの復習	90	主体性 実行力 傾聴力 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力